

今月号のキーワード | 食分野で活躍する『GeoMation Farm』

特集

食の安全を支える「農産品管理システム」

日立ソフトの農業情報管理システム『GeoMation Farm』が食の安全を支える「農産品管理システム」として、“有機・低農薬野菜”宅配のトップブランド、らでいっしゅぼーや様で活躍しています。このたびのニュースレターは、本導入事例を紹介します。

Topics | 『教員免許状 更新講習管理サービス』がASP・SaaS安全・信頼性情報開示 認定を取得
 | 『SecureOnline在宅勤務サービス』がASP・SaaSアワード グランプリを受賞

特集

食の安全を支える「農産品管理システム」 日本全国へおいしさを届ける らでいっしゅぼーや



西口 修

第3公共システム本部
 北海道公共システム部

農業開発・拡販のとりまとめ
 最近では、「GeoMation Farm」の海外展開をめざしている

2004年の発売開始より6年、農業分野において効率よい農作物の生産を支援してきた日立ソフトの農業情報管理システム『GeoMation Farm(ジオメーションファーム)』が、さらに活躍の場を食分野へ拡大しています。今回は、おいしさと安全を家庭へ届けるらでいっしゅぼーや株式会社様で稼働する農産品管理システム「CS-1」を紹介します。

■ “有機・低農薬野菜” 宅配のトップブランド

らでいっしゅぼーや

女性の社会進出、高齢化社会の進展、安全性の高い食材への注目、これらを背景に、近年、食材宅配サービスへの消費者の需要は高まるばかりです。

らでいっしゅぼーやは有機野菜・低農薬野菜、無添加食品の会員制戸別宅配サービスを1988年から展開し、21年の実績を誇る食材宅配サービスのトップブランド。2,400軒の生産者・メーカーと契約し、全国5カ所の物流センタから日本全国10万世帯へ、厳選されたおいしさと安全を届けています。

取り扱う商品は、有機、低農薬、無添加、環境に優しい日用品など全7,000品目に上り、すべての商品が、らでいっしゅぼーや様独自の商品取り扱い安全基準「RADIX」に基づきながら、農薬、肥料、飼料、添加物、素材、製造方法まで細かく管理・生産され、その情報は消費者に漏れなく公開されています。

■ 農業管理精度の向上と情報の統合DB化をめざす

らでいっしゅぼーや様の厳選されたおいしい・安全な食材の宅配業務を支えるのが、今回紹介する農産品管理システム「CS-1」です。日立ソフトの『GeoMation Farm』を基に開発、2008年2月に稼働しました。その後、順次機能強化を図っています。

開発プロジェクトは、らでいっしゅぼーや様の情報システム部と仕入れ、販売を担当しているMD部との連携の下、農業管理精度の向上と情報の統合データベース化をめざして行われました。「マンパワーに頼っていた農業管理をシステム化し、また、個々に台帳やExcelで管理していた契約生産団体や作物の情報をデータベース化することで情報を紐付け、契約生産団体に発注する農産品の最適な管理を行いたいと考えていました。

『GeoMation Farm』は農業管理、生産管理の機能が優れていたうえ、すでに製品化されている点を評価しました。

『GeoMation Farm』の良いところを取り入れ、当社の20年を超える宅配サービスで蓄積してきたノウハウをシステムに反映させるため、『GeoMation Farm』を基にカスタマイズしてもらい、農産品管理システム「CS-1」を完成させました」と、らでいっしゅぼーや様 情報システム部 武田 良之氏は日立ソフトを開発パートナーに選んだ経緯を語っています。

「CS-1」では、らでいっしゅぼーや様が契約する約150の生産団体と約150品目の農産品（さらに時期や価格など細かく分類）の情報を管理しており、品目、作付予定から出荷状況まで、農薬の使用管理なども含めてらでいっしゅぼーや様の農産物の発注、栽培管理、納品にまつわるすべての情報を扱っています。

■ 安全でおいしい野菜を日本全国に届ける司令塔

野菜などの作付計画は通常、年2回実施します。らでいっしゅぼーや様では、出荷の半年前に、どの生産団体に、どの品種を、どの程度、出荷してもらうかを「CS-1」上で調整し、契約生産団体に依頼を出します。

生産が始まったら、各生産団体から週次で、OCR付きFAXかExcelが貼付されたメールにより農薬使用記録が届けられ、本記録を「CS-1」へ自動的に取り込んだ上で管理を行っていきます。同社では、農薬の使用に関して国の規定以外に「RADIX」という基準を独自に設けており、両方の基準に満たない農薬使用状況の生産団体は画面上に赤く表示されることで、生産状況が即時把握できるようになっていま

出荷半年前
農薬管理
出荷2ヶ月、1ヶ月、1週間前
出荷



作付管理画面



農薬使用履歴確認画面



出荷予定確認画面



図1:「CS-1」による農産品管理

関連する製品・ソリューション 『GeoMation Farm』

農薬の使用情報、肥培管理、耕種概要などの生産履歴情報を管理統合

日立ソフトが長年培ってきたGIS(地理情報システム)関連技術を応用することで、農業現場におけるさまざまな情報を地図と関連付けて分かり易く管理・活用できる仕組みが農業情報管理システム『GeoMation Farm』です。本製品は、食の安全・安心、土づくり、農地流動化対策、担い手の育成など、農業におけるさまざまな課題解決と、地域や農業の振興に役立つ機能を提供します。

製品の特徴

- ・地図リンクで農業情報をわかりやすく管理
- ・情報活用による高品質な農業生産を実現
- ・圃場図の作成がカンタン
- ・農薬適正基準の判定がラクラク
- ・施肥設計を支援



GeoMation Farm製品グループ

- ・圃場・土壌情報管理システム
- ・生産履歴管理システム
- ・農作業日誌システム
- ・施肥設計システム
- ・衛星画像利用圃場解析システム
- ・気象情報利用生育予測システム
- ・圃場情報解析システム
- ・3次元圃場管理システム
- ・簡易版圃場管理システム

す。これにより、らでいっしゅぼーや様では取り扱う生産品の安全を守っています。

そして、出荷2ヶ月前と1ヶ月前に生産状況をヒアリング、1週間前に再度確認を行い、これらの情報も「CS-1」へ反映されます。各家庭に商品を発送する段階では、管理されたすべての情報からサマリーを作成し、契約家庭へ生産品を宅配する際に同封し、食の安全を裏付ける情報として利用しています。

■ 迅速化、省力化が図れ、さらに情報の精度が向上

「『CS-1』導入以前に比べ、安全基準厳守や商品調達の効率が大幅に向上しました」と、らでいっしゅぼーや様 MD部 農産課長 森崎 秀峰氏は語ります。

「計画時、出荷2ヶ月前、1ヶ月前にヒアリングする情報の連携が取れるようになり、数量管理の精度が向上しました。出荷可能数量の把握ができるので、少ない品目は他の生産団体に追加発注するなど、システムの情報を役立てています。また、お客様評価や仕入れ段階の返品などの情報を統合・管理できるようになったことで、生産団体の適正な評価につながっています。評価によって生産団体への発注量を決定したり、発注の際の根拠になっています」と森崎氏。

さらに、「CS-1」により農薬管理をすることで「安全ポリシー

の適用向上」(森崎氏)につながり、食の安全性を裏づけています。

「第1に、農薬管理に関してはFAXの情報を手入力し、農薬の本を見ながらチェックするなどマンパワーで行っていたことをシステム化でき、確実性が増し、時間短縮になり、専門性を排除することができました。第2に、作付、出荷の状況把握ができるようになりました。第3に、生産団体の評価が可能になっています。

その結果、迅速化、省力化(属人的なところを排除)が図れ、さらに情報の精度が向上しました。」と、らでいっしゅぼーや様 情報システム部長 大津 顕浩氏は「CS-1」導入を評価しています。

■ 生産団体への支援も視野に入れた今後の展開

現在、らでいっしゅぼーや様では、FAXとExcelで行っている農薬使用記録の提出のASP化を検討しています。「生産者がお客様のニーズをより意識できるよう」(大津氏)、今後生産団体への支援も視野に入れた機能拡張を行う方針です。さらに、「作付計画の半自動化もできるのでは」と森崎氏は「CS-1」へ期待を寄せています。

農産品管理システム「CS-1」は活躍の場を広げ、我々の健康な食生活を支えるシステムとして成長していきます。

USER PROFILE 「らでいっしゅぼーや株式会社」

環境NPOの活動から生まれた “有機低農薬野菜” 宅配のトップブランド

らでいっしゅぼーや様は、「有機・低農薬農産物の生産・消費の輪を広めることは、環境保全活動の一環」という考え方に基づき、1988年、会員制宅配事業をスタートさせました。現在は、“有機・低農薬野菜と無添加食品の会員制宅配会社”として、年間約7,000アイテムの商品を全国約96,000世帯のお客様にお届けするトップブランドです。安全で環境にやさしい商品を選ぶという持続可能なライフスタイルを提案し続けている企業です。

会員制宅配サービスでは、年間約140種超の野菜の中からその時期に収穫される野菜を有機&低農薬野菜セット「ぱれっと」につめて週1回、決まった曜日に会員へ宅配しています。野菜セット「ぱれっと」以外にも、カタログから個別で商品を購入でき、食材・日用品年間約7,000アイテムの豊富な品揃えです。



社名：らでいっしゅぼーや株式会社
所在地：東京都港区芝公園3丁目1番13号
事業開始：1988年5月17日
代表者：緒方 大助
従業員：従業員数 237名(2009年2月現在)
事業内容：事業内容：有機低農薬野菜および無添加食品等の宅配事業
H P : <http://www.radishbo-ya.co.jp/>

最近のニュースリリース

当社の最新およびこれまでのニュースの詳細は、当社ホームページのニュースリリース
<http://hitachisoft.jp/News/index.html>にてご覧頂けます

■GeoMation」がAPPLICの地域情報プラットフォームへ準拠

統合GISとして利用することで、地方公共団体のさまざまな情報システムとの連携を容易に

■日立ソフトが、「匿名バンク」のコンティニュー規格準拠製品との連携に対応

健康関連機器から自動的に出力される情報を匿名化し、安全に管理

TOPICS

『教員免許状 更新講習管理サービス』が ASP・SaaS安全・信頼性情報開示 認定を取得

1月28日、『教育免許状 更新講習管理サービス』が財団法人マルチメディア振興センターの定める安全・信頼性に係る情報開示基準を達成していることを証して、ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度を取得しました。

『教育免許状 更新講習管理サービス』とは、教員免許状の更新講習を開講する大学・教育団体向けに、講習の開設に係わる文部科学省への提出書類作成から、受講者のインターネット予約及び受講者管理まで、更新講習実施に関連した事務を幅広くサポートするサービスです。更新講習管理システム(OSS)を利用して、当社のASPサービスや学内導入サービスとしてお客様に提供しています。

なお、更新講習管理システム(OSS)は、平成20年度に、都道府県教育委員会からの委託により日立ソフトが開発を行ったものです。



TOPICS

『SecureOnline在宅勤務サービス』が ASP・SaaSアワード グランプリを受賞

2月19日、『SecureOnline在宅勤務サービス』が、特定非営利活動法人ASP・SaaSインダストリー・コンソーシアム(ASPIC)が主催する第4回ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2010にて、「ASP・SaaS部門 Application分野 支援業務系グランプリ」を受賞しました。

本アワードは、日本国内でもっとも優秀かつ社会に有益なASP・SaaS・ICTアウトソーシングを実現しているアプリケーション・コンテンツ提供・その他のオンデマンドサービスなどの、ネットワークを活用したICTサービス全般について表彰するものです。

多様な働き方の確立が社会で求められるなか、便利で安心・安全・安価なクラウド型サービスにより在宅勤務環境を構築し、在宅勤務の導入推進へ貢献したことが評価され、このたびの表彰となりました。

なお、『SecureOnline』では、昨年の「第3回ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2009」に引き続き、2年連続の受賞となります。



商号	日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
本社	〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番7号 Tel:03-5780-2111(大代表)
設立年月日	1970年9月21日
従業員数	5,492名(2009年9月末)
売上高	1,658億円(連結)(2009年3月期)
事業内容	『システム開発』、『サービス』、『プロダクト&パッケージ』の3つを主な事業領域とし、加えて『情報処理機器』の開発・販売、そしてトータル『システムインテグレーションサービス』の提供
主要製品・サービス	機密情報漏洩防止ソリューション「秘文」、指静脈認証システム「静紋」、電子ドキュメントトータルソリューション「活文」、インタラクティブ電子ボード「StarBoard」、地理情報システム「GeoMation」、統制IT基盤提供サービス「SecureOnline」他
認証取得等	ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)、ISO9001(品質マネジメントシステム)
主な子会社および 関連会社	日立ビジネスソリューション(株)、日立ソフトシステムデザイン(株)、キャブカード&サービス(株) (株)アイネス、(株)ビジネスブレイン太田昭和、(株)DACS

ニュースレター、転載、取材に関するお問い合わせ
Tel:03-5479-5013 [CSR本部広報・宣伝部:竹橋、高野]
E-mail:press@hitachisoft.jp

* 記載されている会社および製品名は各社の商標または登録商標です。
発行日 2010年2月25日